



学校だより

登校わくわく 学校いきいき 下校にここ

千葉市立千草台東小学校

No.5 (9月号)

令和7年9月12日



夏休みの作品展

振り返る力は生きる力

校長 角田 淳志

保護者と地域の皆様には日頃より、本校の教育活動に対して、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。また、朝から暑い中、PTAの皆様とセーフティウォッチャーの方々の旗振り活動・見守りをしていただき、子供たちの安全・安心の確保をしていただいておりますことに、感謝申し上げます。

さて、夏休みが終わり、9月1日より前期の授業が再開しました。登校してきた子供たちは、元気に千草台東小自慢の挨拶をしてくれました。挨拶は心と心をつなぎます。挨拶は交わし合うことに意味があると思います。今後も、子供たちの明るい笑顔と元気な挨拶があふれる千草台東小にしていきたいと思っています。夏休み前の集会で「自分の身は自分で守って安全に過ごせるようにしてください。」という話をしました。無事に43日間の長い夏休みを安全に過ごせたのは、一人一人が自分の命を大切に考えて行動した結果だと思っています。そして、何より子供たちを支え、見守ってくださったお家の方や地域の方々のおかげだと思います。

学校では夏休みの作品展を催しています。一人一人の頑張りが見える工作や論文など、素晴らしい作品ばかりで、夏休みを有意義に活用できた様子がうかがえました。そこには、保護者の皆様のご支援があったことと思います。ありがとうございました。

今年の夏も記録的猛暑となり、日本の平均気温は統計開始以来、最も高くなりました。これは地球温暖化の影響と太平洋高気圧の強い張り出しが主な原因とされ、「異常気象」との見解も出ています。なんだか、毎年異常気象と言われている気がして、異常が普通になってしまっているんじゃないかと思えてしまいます。まだまだ暑さが続きそうですが、帽子の着用やこまめな水分補給などの声かけを継続し、子供たちが元気に過ごせるよう努めて参ります。

子供たちは、夏休みまでを振り返り、気持ちも新たにめあてを立てているかと思っています。今年度の千草台東小の合言葉「ひ・が・し」の「が…めあてをもってがんばる」で、生活場面でも学習場面でも、自分の目標やめあてを決めて取り組むことを大切にしています。目標やめあてとは、自分ができるようになりたいこと、なりたい自分を想定することです。そんな未来の姿を見据えて、具体的に何をするか、何を頑張るかを設定することが大事です。「忘れ物をなくす」「算数を頑張る」ではなく、「忘れ物をなくすために、帰ったらすぐに準備する」「算数を頑張るために、毎日復習する」というように、具体的な行動にしていきます。取り組むべきことがはっきりとしていれば、振り返りも容易です。「帰ったらすぐに準備すると決めただけ、できない日もあった」「毎日復習したから算数が好きになってきた」のように行動をふり振り返り、新たな気持ちで前を向いて進むことができます。時には、実現のための方法を変更し、「忘れ物をなくすために、帰ったらすぐに準備して、朝もう一度確かめる」と修正することで、なりたい自分に近づいていきます。

学校は授業の中でも「振り返り」を大切にしています。友達の考えを知るなどして、自分を振り返り考えを広げたり深めたりしていきます。これが友達とともに学び合うことの意味であり、一人では達成できないことです。友達との関わりによって自分がどう変わり、どんな気付きがあったかを明らかにして言葉にすることで、考える力は生きる力へと高まっていきます。こうした学校で学ぶことのよさを生かしながら、子供たちの成長を支援して参ります。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。



「ひとにやさしく」 自分にも、お友達にも、優しくしましょう。



「が ん ば る」 めあてをもって頑張りましょう。



「しっかり挨拶」 しっかりと、千草台東小学校の自慢の挨拶をしましょう。